

浦幌町立博物館だより

2023(令和5)年5月号



編集・発行：浦幌町立博物館 ☎089-5614 北海道十勝郡浦幌町字桜町16-1 / ☎015-576-2009 / ✉info@museum-urahoro.jp

浦幌で国際シンポジウム

国際シンポジウム
先住権としての川でサケを獲る権利

海と森と川に生きる先住民の集い

2023年5月26日(Fri.)～28日(Sun.)

開催地 北海道十勝郡浦幌町 参加費 無料

主催 ラポロアイヌネイション
共催 北大開示文書研究会、北海道大学先住民・文化的多様性研究グローバルステーション

日本でアイヌ民族が「先住民族」と認められたのは、2019年にアイヌ民族法が成立してからのことです。しかし、この法律によっても自然資源などの先住権は一切認められていません。

そこで、私たちは、オーストラリア・台湾・カナダ・フィンランド・アメリカから、海や川での漁業権の回復を果たしてきた先進的な先住民や研究者をお招きして、シンポジウムを開催することにしました。私たちアイヌが先世のように川や森の恵みを受けた暮らしをとり戻すにはどうしたらよいか、みなさんと共に学びたいと考えています。

5/26(Fri.) 14:00～ 開会セレモニー 会場：洞窟内生活館(浦幌町字桜内2-4-15)
○ラポロアイヌネイションによる歌謡のカムイノミ
○ゲスト住民によるアビール、パフォーマンス、レセプション・交流

5/27(Sat.) 午前 浦幌十勝川、チャシ跡などのフィールドワーク 参加先住民限定です
14:00～ 国際シンポジウム ご自由にご参加ください 会場：コスミックホール(浦幌町字本町100) *JR浦幌駅前
PART I 14:00～18:30 海外先住民ゲストの講演

5/28(Sun.) PART II 9:00～11:45 海外先住民ゲストの講演
PART III 12:45～16:30 車庫トーラポロと海外先住民ゲストの語り合い

*ゲスト講演は映像をまじえ、通訳をとしたわかりやすいお話を予定しています
*同日、北大から取り戻した墓地副葬品などのロビー展も開催予定(協力：浦幌町立博物館)
本シンポジウムは「1970年代環境保全プログラムの実施により開催します patagonia

会場で出張展示を開催

今月5月26日(金)～28日(日)に、浦幌町内で国際シンポジウム「先住権としての川でサケを獲る権利」が開催されます。浦幌町立博物館では、会場となるコスミックホールにおいて、浦幌のアイヌ団体であるラポロアイヌネイション(旧浦幌アイヌ協会)の活動を通じてアイヌ民族の現在を紹介するパネル展と、当館が所蔵する民具や副葬品などの資料展示を行う予定です。

サケはアイヌの人々にとって大切な魚で、かつては毎年秋になると、川に遡上してくるサケを自由に捕獲していました。明治時代に資源保護のためとして川でのサケ漁

浦幌町で開催される国際シンポジウム「先住権としての川でサケを獲る権利」のポスター(ラポロアイヌネイション提供)

は禁止されます。現在では毎年、北海道庁に申請して許可を得た上で、新しいサケを迎える儀式「アシリチェブノミ」が先住民族の伝統文化の継承の観点から、毎年9月に十勝太の新川で行われています。

日本ではまだ「先住権」に関する議論は始まったばかりです。さまざまな考え方の違いもあり、特に川でのサケ漁については裁判も行われています。

シンポジウムでは、海外から先住民族の方々が浦幌町を訪れ、それぞれの地での先住権と向き合ってきたのが報告されます。さまざまな事例を学び、未来について議論する、良いきっかけになることを願っています。

(浦幌町立博物館学芸員 持田誠)

「博物館の収蔵資料から

こんな資料を集めています!

郵便局のスキー



北海道は日本でも最後まで、スキーで郵便配達を実施していた地域です。1954(昭和29)年の、郵便局員のスキーを寄贈いただきました。裏面に郵便マークが押されています。

(山本義春氏寄贈資料/浦幌町立博物館学芸員 持田誠)

新規着任職員紹介

博物館係主査

しょうぼ みさお
正保 操



博物館に配属となりました正保操と申します。昭和56(1981)年、役場に奉職し、本年3月をもって定年退職となりましたが、4月から引き続き再任用職員として勤務することになりました。

浦幌に長年住んでいますが、町の歴史などわからないことがたくさんありますので、日々勉強し、皆様に少しでも浦幌のことをお伝えできるように頑張りますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

また、博物館では毎月「企画展」や「博物館講座」などを開催していますので、皆様のご来館をお待ちしております。



5月の博物館お知らせ

5月の連休も開館しております

ゴールデンウィーク期間中は5月1日(月)のみ休館。どうぞお気軽にお立ち寄り下さい。

企画展

国際シンポジウム出張展示

アイヌ伝統文化作品展

4月29日(土)

5月28日(日)

10:00~18:00

場所:博物館特別展示ホール

主催:ラポロアイヌネイション 共催:浦幌町立博物館



アイヌ民族の現在 ラポロアイヌネイション

5月26日(金)

5月28日(日)

10:00~20:00

場所:コスミックホール(JR浦幌駅前)ロビー



協力:ラポロアイヌネイション

知っとこ!うらほろ

モニタリングサイト1000里地調査

知っとこ!うらほろ

浦幌炭鉱跡地と常室一帯

日時:5月4日(木・祝) 9:30~12:00

集合:浦幌町立博物館

定員:8名(電話・メールで申込受付)

新しく浦幌へ来た人、浦幌に関心のある人向けに、旧浦幌炭鉱跡地や常室一帯の史跡などを巡ります。

豊北植物調査会

日時:5月6日(土) 9:00~12:00

集合:浦幌町立博物館

定員:8名(電話・メールで申込受付)

※自家用車利用の方は申込不要です。

たぶんまだ何も咲いていませんが、それを記録します。

移動博物館

国際博物館の日記念講座

青い鳥をさがそう!

日時:5月7日(日) 7:00~9:00

集合:うらほろ森林公園駐車場
(みのり館前駐車場)

講師:トリおばさん

定員:なし



幸せを運ぶ青い鳥オオルリをみんなで探します。

改正博物館法と浦幌

5月18日(木)

18:00~20:00

場所:博物館

入場無料

浦幌にとって、博物館はどんな存在であるべきなのでしょう?
4月から施行となった、新しい博物館法と照らし合わせながら、浦幌町立博物館の未来を、参加者とともに考えます。

★毎年5月18日は国際博物館の日です★

入館料:無料

開館時間:10:00~18:00

バリアフリートイレ完備
車いす常備

多言語化表記には未対応

学芸員:1名配置

展示解説の申込み、レファレンス、
資料調査等は事前に電話かメール
にてお申し込みください。

5月 休館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
23	24	25	26	27	28	29
30	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

休館日:月曜日・祝日の翌日

4月28日(金)と5月31日(水)は、
資料整理休館日です。



JR根室本線浦幌駅下車徒歩8分
帯広駅より普通列車...約1時間
池田駅より普通列車...約30分
釧路駅より普通列車...約2時間
鉄道のご利用が便利です!

【運賃】

帯広~浦幌間 1290円(片道)

釧路~浦幌間 1680円(片道)

【運賃】 駐車場無料

帯広市より国道38号線約1時間

釧路市より国道38号線約1時間半

道東自動車道浦幌ICより約50分



浦幌町立博物館
The Historical Museum of Urahoro

お申し込み・お問い合わせ:電話 015-576-2009
〒089-5614 北海道十勝郡浦幌町字桜町16-1(図書館併設・役場となり)
E-mail: info@museum-urahoro.jp / https://museum-urahoro.jp